



日本サーバス会長 T. Y.

日本サーバス会員の皆様お元気でしょうか？ここ日本では、今年は史上初といわれる猛暑の夏を経験し、それが長々と続き、短い秋の次は全般的に暖冬の予報が出ていますが、今は急変して厳寒となっています。

報道では、海外から多くの旅行客が訪れ、日本でもコロナが一応の落ち着きをみせ、海外の旅に出かける人も増加しているようです。日本サーバスにもホストの依頼が続き、トラベラーとしても海外に出かけていく方が増えているようです。

ロシアのウクライナ侵攻には終わりが見えず、ハマスとイスラエルの紛争で日々子供を含めて人々が亡くなっています。戦争難民に加え、異常気象で気象難民も増えそうな時代になりつつあります。

世界の人一人でも多く平和を味わえる時が来るように、個人と個人が草の根の交流を促進し相互理解を深めるというサーバスの精神を持ち続け、広めるという目標を保ちつつ、一歩ずつ歩みながら日々暮らしていきたいと思う毎日です。

今号は次の内容を掲載しています。

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 支部だより | 東北支部・中国四国支部 |
| 2. 「竹中プロジェクト」
旅行支援の公募・選考
旅行レポート | 旅行支援の公募・選考
関東支部 M. F. |
| 3. 東アジア会議に参加して | |
| (1) 簡単な会議報告 | T. Y. |
| (2) 最後のアジア会議 | O. T. |
| (3) 初めての東アジア会議体験 | S. S. |
| (4) 初めてのサーバスステイ体験記 in Taiwan | Y. K. |
| 4. ドイツ親善旅行参加者募集 | T. F. |
| 5. 本部からのお知らせ | |
| (1) 申請・届け出書類のリストについて | |
| (2) 倫理規定 | |
| (3) 遠隔投票 11月 | |
| (4) 支部の活動報告・会計報告・トラベラー報告お願い | |
| 6. ユース部 「SYLE/SLE プログラムのご案内」 | N. Y. |
| 7. 国際サーバスニュースレター（要約） | 国際部 |
| 8. 編集後記 | T. F. |

1. 支部だより

東北支部

支部会報が10月に発行され、お若いC.N.さんが発行を担当されました。また、欠員だった副支部長にはM.S.さんがなられました。M.さんはサーバス歴50年で、なんと今まで650名ものトラベラーを受け入れたそうです。1回目に受け入れたハンガリーのご夫婦との写真も掲載されていました。外国の会員との交流だけでなく、日本の会員との交流の様子も楽しく拝見しました。原本は日本サーバスのホームページにてぜひご覧ください。

中国四国支部

11月末新しい会員さんを迎えました。
I.H.さんとおっしゃる鳥取県米子市にお住いの方です。少しご紹介します。

仕事の関係で東京や大阪に長く住んでいましたが、10年前、定年を期に米子市に戻ってきました。コロナ前に計画を立てていたアラスカの旅を今年思い切って実行しました。アラスカで厳しい自然環境の中で暮らしている方の所でお世話になり、そこでサーバスの事を知りました。ネットを通じてサーバス活動の詳細を知り、共感し入会することになりました。Webページは丁寧に細かく作られていて、きちっとした組織だという印象を受けました。今までに米国、ネパール等数カ国にホームステイしたことがあり、国際交流の体験はとても私の人生を豊かにしてくれています。
今一番行きたい国は男女平等の意識が世界1位のアイスランドです。今は環境問題、地域貢献や日本語指導などで活動しています。観光だけの旅でなく、異文化交流の旅は、まだまだ私の好奇心をくすぐっています。どうぞよろしくお願いします。

2. 第1回「竹中プロジェクト」旅行支援の公募・選考

支援金受給者が決定しました

「竹中プロジェクト」の公募・選考は以下の要領で行いました。

公募期間 : 2023年9月1日～9月30日

応募者 : 1名 関東支部

選考 : 10月9日 ZOOMにて運用委員会を開き、全員の賛成で応募者を支援金給付の対象者と決定

支援金振込 : 10月13日 竹中基金の口座から支援金50,000円を支給

皆様のご協力で第1回目の「竹中プロジェクト」の公募・選考を無事に終えることができました。次回の「竹中プロジェクト」の公募は2024年4月頃を予定しています。

「竹中プロジェクト」を利用したサーバス旅行報告

関東支部 M.F. (T.H.)

Couchsurfing のメンバーから Servas のことを知り、今年 9 月、日本サーバスの会員になりました。そして『竹中プロジェクト・旅行支援』があることを知り早速応募しました。

旅行は、10 月 15 日から 10 月 30 日まで約 2 週間、初めてのヨーロッパ（ロンドン/パリ）です。是非、一緒に時間を過ごせるサーバス・ホストを探したいと思いました。しかしながら思ったよりも難しかったです。SOL を使ってロンドンやパリのホストに何度もリクエストを送りましたが、全く返事はありませんでした

ほぼあきらめていたところ、旅行の終わりになってようやく、10 月 29 日、ロンドンで day host の M.C. に会うことができるようになりました。St Paul で day host の M. に会いました。彼はブラジル人で、ロンドンに移住し 10 年になるとのこと。彼と一緒にコーヒーを飲みに行きました。ロンドンでの彼の生活やサーバス活動などについていろいろと話しました。その後、ロンドンのいろいろな観光案内をしてもらい、また人気があるカフェなども教えてもらいました。本当にうれしい日でした。



彼はとても優しい人で私にコーヒーをご馳走してくれました。ともかく初めてのヨーロッパ旅行だったのでとても楽しく刺激的でした。ロンドンでは、イングリッシュブレックファストやフィッシュアンドチップスなど、おいしい食べ物をたくさん食べることができました。

ビッグベン、バッキンガム宮殿、ウェストミンスター寺院など、ロンドンの多くの有名な場所を訪れました。ロンドンの天気はいつも曇っていてとても悪いと多くの方が言いますが私が訪れた時は天気が良かったので素晴らしい景色を眺めながら素敵な写真を撮ることもできました。



最後になりますが、『竹中プロジェクトの旅行支援』を支給して頂き有難うございました。今回、初めてサーバス day host を経験し、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。次の旅行ではもっと余裕をもって host に連絡をとり充実したサーバス旅行をしたいと思います。また、日本でもトラベラーからリクエストがあれば day host をしてあげたいと思っています。



編集部より

ホストがなかなか見つからずご苦労されている方もいらっしゃるようです。その場合はその地区のエリアコーディネイターに問い合わせをして、相談すると力になって頂ける場合もあります。

3. 東アジア会議に参加して

(1) 簡単な会議報告

T.Y.

東アジア会議が11月10日～12日まで台湾の台中で行われ、会長として出席しました。前日9日から行きましたので11日までの3日間はホテルに滞在、着いたら今まで会議やイベント等でお会いしたことのある韓国のメンバーがロビーにいて、駆け寄ってきてくれ、嬉しい再会になりました。参加したのは韓国20名、日本6名、アメリカ2名でバンングラディッシュも参加と聞いていましたが、直前にキャンセルになったそうです。



初日(11日)の会合は Providence 大学(静宣大学)と台湾サーバスとの協定書交換の式典から始まりました。これは大学側の生徒にもっと外の世界を見てほしいという考えと、台湾サーバスの若者の入会者を増やしたいという思いが一致し、今後お互いの協力を約束し、そのことを文書で確認するための式典でした。東アジア会議の参加者が見守る中、協定書交換、大学関係者のスピーチ、台湾サーバスのスピーチ等が行われました。

その後は同会場で東アジア会議のミーティング。日本サーバス、韓国サーバス、台湾サーバスの代表に10分間のスピーチの時間が与えられましたので、日本サーバスからはTが前半「日本サーバスの現状」「竹中プロジェクトのこと」「サーバスの目的」などを語り、後半はO.さんが「今後の東アジア会議について」発言しました。

会合の後はバスをチャーターしての台湾中部(台南市中心)の名所旧跡や地震学習施設、楽器製作所等をめぐり台湾を直に感じてきました。夜市見学ではウィークデイにも関わらず大勢の出入に圧倒され台湾の活力を感じました。他国の会員の方々と親しく交わることができたことは喜びでした。



12日に帰国する人達は朝、直接台北へ移動し、そのまま帰国。台北でサーバスステイをする人達は台湾の中心にある景勝地日月湖(Sun-Moon Lake)に連れて行っていただきました。その日遅くそれぞれのホームステイ先へと向かいました。

この度の東アジア会議では台湾サーバスの方々に変にお世話になりました。式典、観光、様々な打ち合わせなど大変な時間と労力を使われたことと思います。お世話くださいましたお一人お一人に心より感謝いたします。

(2) 最後の東アジア会議

九州支部 O.T.

2023年11月10日～12日に台湾で行われた東アジア会議に参加しました。

今回の私の参加目的は2021年3月に行われたオンライン国内会議で国際会議関係プロジェクトリーダーとして「東アジア地区の会合」について提案した内容が可決されていたので、その国内会議決定を遂行することになりました。その時の提案内容を解説つきで要約すれば①～⑤になると思います。

- ① 国際サーバスの組織に位置づけられていた国際エリア別会議（「東アジア会議」はその中の一つ）は各地域で廃止されていたが、東アジア地区では交流目的のミーティングとして「東アジア会議」が持続されてきている。日本サーバス本部は長い間そこに役員も送ってきた。
- ② しかし、現在の日本サーバス本部の力量ではコーディネーターを選出し、「会議」を主催するには非常に厳しいものがある。
- ③ 一方、長年積み上げられてきた東アジア地区の交流や他国のサーバスとの対面交流は今後も大切にしたいので、「東アジア会議」からの一方的脱退という事態は避けたい。
- ④ よって、日本サーバスとしては「東アジア会議」という形での各国サーバス本部主催の会議ではなく、各支部間の交流、あるいは支部主催の行事への参加の呼びかけ等を近隣諸国に対して可能な限り積極的に行い、自らもそれに参加していくことでサーバス活動の活発化をはかる交流スタイルを推進し、「東アジア会議」の発展的解消をめざしたい。
- ⑤ このことを次回の「東アジア会議」に出席して日本の実状を説明すると共に、新しい交流のスタイルを会議参加の国々に提案する。

A 業務担当の「会議」出席者は前述した上記①～⑤の宿題を果たすことを会議参加の目的の一つに設定し、T.Y. 会長は発言の機会を設けてもらえるように台湾側主催者と事前交渉を繰り返しました。その折衝の中で主催者から今回の開催が最後の「東アジア会議」になるようだと言われ、「それ、どこで決定したの？」という感じでしたが、私たちとしては単なる解消ではなく、上記④を踏まえた「発展的解消」の視点を入れたいと考え、急遽、スピーチの内容を大幅に変更することにしました。

T 会長が前半で日本サーバスの現状と活動の紹介を行い、後半で O が上記④の視点で、発言し、支部間の交流、会合への誘いかけをお互いに行い、平和が案じられる今こそ草の根の交流を活発化させ、**peace builder** としての活動を活発化させていきたいと思います。拍手がありましたので、支持をいただいたのだと思いました。

最後に今回が「東アジア会議」の名称のもとに行われる最後の会になるということで、今まで「東アジア会議」の存続に力を注ぎ、この地区でのサーバス活動の発展に力を尽くしてくださった、台湾の S さん、韓国の O さん、S さん、そして日本の N.M. さんにねぎらいと感謝のことばを贈り、今後の活発な活動への期待を表明しました。

これで、2019年3月以来、何となく引きずってきていた私の役割は終わった！と正直、ホッとしました。台湾での東アジア会議参加は2回目でしたが、台湾のみなさんのあたたかいもてなしと古い友人たちとの出会い、そして新しい仲間との交流に“やっぱりサーバスっていいなー”の思いしきりでした。3泊4日の密度の濃い旅になりました。

(3) 初めての東アジア会議体験

2023年11月10日～12日

九州支部 S.S.

台湾での東アジア会議に初めて参加しました。家や仕事の都合で会議が終わってすぐ帰らなくてはならず、サーバステイができなかったことは残念ですが、会議の前後台湾サーバスのご配慮でいろいろな観光地や施設に案内していただきました。

最初に訪れたのは霧峰林家宅園で霧峰林家の邸宅と庭園からなる建築群です、4代続いている五大豪族の一つです。樟腦の専売権を得るなど清朝統治時代（1644-1912）の台湾で最も影響力のある家族だったそうです。林家には、立派な舞台があり、さらに舞台を取り囲む二階建ての観客席まで設置されていて厳かで立派な佇まいでした。英語での説明が聞き取ればよかったのですが、そこが少し残念です。



国立自然科学博物館

1999年9月21日に起きた大地震は台湾中部を中心に、最大震度7の揺れが襲い多くの犠牲者が出ました。その時に隆起した断層と、倒壊した中学校校舎を保存した博物館です。地震の揺れの体験は残念ながらサーバスメンバーとの話に花が咲き、出遅れてしまいました。



張連昌サクソフォン博物館ではいろいろな年代のサクソフォンが展示されていて、希望者にサクソフォンを吹かせてくれました、6、7名グループになって指導を受けましたが、なかなか音を出すのは難しかったです。でもこんな体験はめったにできないので貴重な経験ができたと思います。台湾はサクソフォンで有名で、世界中の3分の1のサクソフォンは台湾製だそうです。

短い間でしたが、東アジア会議の為に尽力頂いた台湾サーバスの方、良い人との出会い、良い思い出がたくさんでき、本当に充実した東アジア会議でした。参加させていただき大変ありがとうございました。

(4) 初めてのサーバスステイ体験記 in Taiwan

九州支部 Y.K.

サーバス東アジア会議 2023 in Taiwan に出席後、12 日夜に台北に移動、13、14 日は台北のサーバスメンバーの方たちに白石湖、寺院、大湖公園、鳥来の小川原温泉、老街市、滝などをバス、車などで案内していただきました。韓国のメンバー達と共に笑ったり食べたり歩いたりとても楽しい二日間を過ごしました。

大湖公園では新婚カップルと出会い、みんなで祝福、記念写真を撮ったりローカルの犬を連れ散歩する人たちと触れ合ったりとゆったりとした二日間は今でも新鮮な思い出です。台湾のサーバスメンバーのチームワークの良さにはほんとに感謝しています。

12、13 日は台北メンバー J さんの家に宿泊。英語があまり得意ではないとの事でしょう、娘さんの M さんも応援に来てくださり、私たちをサポートしてくれました。J さんとはあまりお話す機会はなかったのですが、観光する時はいつも私たちがちゃんと付いてきているか時々振り返ってくださり、心の温かい方だなという印象でした。二日目は韓国の C さんも J さん宅に合流、J さん、C さん、T さんとカラオケを楽しみました。

J さんは台中での会議からずっとお世話して下さいほんとに感謝しております。又サーバスホームステイを是非体験したいと思えます。



鳥来 小田原温泉地からトロッコ列車で山頂に 滝の前で



台北のメンバー J さん宅にて C さん、M さんと



台中 伊藤豊雄設計のオペラハウス前で

4. ドイツ親善旅行参加者募集

T.F.

日本サーバスと付き合いの深いドイツサーバスの副会長Mさんから日本サーバスグループがドイツ旅行を希望されるなら引き受けますよというメールが入り、現在参加者募集中です。一年の中でもいい気候の時期の5月末から6月中旬までの2週間を予定しています（はっきりした期日は未定）。興味のある方は副会長Tまでお知らせください。

5. 本部からのお知らせ

(1) 申請・届け出書類のリスト (Web ページまとめ) について

サーバス会員や支部長さんが、入会、LOI 取得などの申請書類や届出等を行う際、それらの案内や提出書類が Web ページ上に散在していたり、支部長さんが所持していたりしていましたが、書類が容易に引き出せるようこれらを一つの Web ページにまとめ、閲覧、ダウンロードできるようにしました。以下にまとめた書類を示します。

1. 会員用

- 入会時：「会員票の作成手引き」；「会員票 (Word)」
- 家族会員の追加申請または SOL 登録の申請：「会員票 (家族会員用) 作成手引き」；
「会員票 (家族会員用 ; Word)」
- 移動・退会時：「会員の支部移動届け (Word)」；「退会届 (Word)」
- LOI 取得時：「LOI 取得手順書」；「LOI 発行申請書 (Word)」；
「サーバス会員の倫理規定」；「サーバストラベラーの手引き」；「新型コロナウイルス感染流行下におけるサーバス旅行と受入れについての指針」
- トラベラーの旅行後：「旅行報告書 (Word)」

2. 本部および支部役員用

「申請書類の送信先」；「LOI 発行の手順文書」；「会員登録依頼書 (トラベラー認定登録を含む ; Word)」；「eStamp 付 LOI 発行依頼書 (Word)」

詳細は、日本サーバスのトップページのメニュー「会員専用」を選んで[会員専用ページ](#)にはいり、青緑の帯メニューの「申請・届出書類 (会員用)」または「申請・届出書類 (役員用)」を選ぶと閲覧できます。

申請や届け出の折は、上記案内を参考にされて、Web ページ上の書類をご活用ください。

(2) サーバス会員の倫理規定について

「サーバス会員の倫理規定」は、サーバス旅行や、ホストをする時の参考にして、お互いに気持ちのいい交流をしていただくための規定です。この規定は、国際サーバスの遠隔投票により 2023 年 6 月に承認されました。

トラベラーを受け入れたり、トラベラーが認定面談の前や、旅行前に必ず読む書類です。その全文は日本サーバス Web ページの会員専用ページのメニュー「申請届出(会員用)」の「1.5.3 サーバス会員の倫理規定」に掲載されています。

その中の重要と思われる部分を以下に示します。

サーバスの目的は、異なる文化間でのより深くより個人的な交流の機会を提供することによる、人々との間の平和と理解の増進することにあります。

活動の中でサーバストラベラーとサーバスホストは以下を遵守します。

1. 全ての人々と信条に対して敬意を払い、寛容な気持ちで接します。
2. サーバスの訪問中、サーバストラベラーとサーバスホストのプライバシーを尊重します。
3. サーバス旅行時は必ず有効な LOI を持参します。
4. サーバス会員の個人情報の機密性を守り、他のサーバス会員の情報を使用する際は許可を得ます。
5. サーバスの役員や委員会メンバーその他の役職を勤めている間は、サーバスと他の組織や企業との間で利害関係が生じないように行動します。

(3) 遠隔投票 2023年 11月実施

11 月末に国際サーバスの遠隔投票がオンラインで行われました。下に示しているように 4 件のモーション(提案)があり、日本サーバスは 4 件に賛成を投じました。全体の結果が先日発表されましたが投票資格のある国は 60 ヶ国、実際投票した国は 47 ヶ国で、賛成大多数で 4 件のモーションは承認されました。

- モーション 1. 国際サーバスは 2024 年 5 月に予定されている遠隔投票の代わりにオンラインによる臨時総会 (EO SIGA) を開催することへの承認。
- モーション 2. 2022-2023 年度 SI の監査済みの財務書類の承認。
- モーション 3. 2022-2023 年の SI の外部監査人を 2023-2024 年度再任すること。
- モーション 4. ペルーサーバスが SI メンバーグループ (SI MG) に復帰することを認める

(4) 支部の活動報告・会計報告・トラベラー報告お願い

支部長さんは今年度の支部の活動報告・会計報告・トラベラー報告をお願いします。締め切りは 2024 年 1 月 20 日です。T までお送りください。

6. SYLE/SLE プログラムのご案内

サーバスユース部 N.Y.

2023年11月に2週間程、フィンランドにサーバス旅行をしてきたのですが、今回の旅行は一つの国にゆっくり滞在したこともあり、ステイ先の方や他のフィンランドのメンバーの方々と現地の文化や言語などについて多くのことを話したり学んだりで、本当に素晴らしい楽しい旅となりました。

既にご存知の方も多いとは思いますが、サーバスには、SYLE/SLE プログラムという4週のサーバス旅行を通じて現地の文化や言語を深く理解することのできる素晴らしいプログラムがあります。もし旅行にいく時間が少し長くとれるのであれば、SYLE/SLE プログラムを活用されてみてはいかがでしょうか？と思い、再度プログラムの案内を以下にてさせていただきます。

Servas Youth Language Experience (SYLE) *18~30歳

目的はこのプログラムに参加している期間にホストファミリーとの生活を共にすることで、さらに深い言語と文化も学ぶことを目的としている。受け入れ形態は国によって異なりますが、1ヶ月内で1家族以上のサーバスホスト宅に滞在し、ステイしている間に提供された活動を通じて文化の差異、人権や平和についての問題を研究することが求められます。

Servas language experience (SLE) *30歳~

語学学習の機会を提供するプログラムです。また、語学学習だけではなく、ボランティア活動やServasにおけるプロジェクトに参加することも可能です。

7. 国際サーバスニュースレター（要約）

国際部

国際サーバス会報 Vol.29 2023年 No.2

p	概要
2	《Hello!》 ホストを見つける方法は何を使っていますか？編集長にそれを教えて下さい。記事にしますよ。(SINB 国際サーバスニュースレター 編集長より)
3	《SI 会長のメッセージ》 国際サーバス会長 R. R.
4	2023年、地球には戦争、地震、洪水、大火等が起こっている。だからこそ我々の仕事がいよいよ重要になる。この地球を守る草の根レベルの仕事は極めて需要だ。 国際サーバス本部はサーバス体験の多くの面を改善することに努力している。
5	《台湾東アジア会議のお知らせ》 J. J. (これは11月に終了しました)
6	《スイスミーティングにいらっしやい》 スイスサーバス会長
7	2024.5.18~20 ローザンヌ、ユースホステルでのミーティング、

7	ローザンヌの紹介、スケジュール紹介。 アコモデーション紹介、登録 2024.4.1.締切
8 9 10	《目的地はスウェーデン》 スペインの P. B. バルセロナから南スウェーデンまでカマルグのラグーン、カイザーシュトゥルのワイン畑、 フライブルクの黒い森、チェコのエルベ河近くの山と森、ポーランドの黄色の野原、静かな バルティック海を渡り、素晴らしいカールスクローナ・アルチペラーゴ到着。 写真下 Aseda のサーバスホスト J と E 宅でのディナーパーティ 私の心にはたくさん感動的なシーンが残っている。いつも人々に囲まれ、互いの文化や生活 についての会話、ローカルフード。サーバス精神は旅行の間ずっとあり、素晴らしい人々に 会えた感謝と幸運を感じた。
11 12 13	《ハイキングの虜になって》 ポルトガルの A. S. 2023年5月友人 Marta とルクセンブルグを訪れた。中世の城、深い森、私達はハイキ ングの虜になった。それからEUの生まれた街シャンゲンへ。最後の日はSとTのホスト 宅、Sの職場の大学のラボも案内してもらった。R,S,Tルクセンブルグのホスト達に感謝 しながらポルトガルに戻った。
14	《サーバスにおけるボランティアの機会》 サーバス創業者 B. L.の本 <u>Seeds of Servas</u> に記されている。サーバスボランティアの機会 は次のようなものである。 ① ホストとトラベラーの出会い ② 教育的交流 ③ 環境保護意識、我らの地球、自然保護の重要性認識 例えば、それぞれの言語を教え合ったり、平和、環境問題組織と連絡したり、等々。
15 16 17	《旅は先入観を覆す？》 フランスサーバス M-B S インド旅行で様々な出会いと交流を通してインドについてのステレオタイプの先入観が覆 された。
18 19 20	《男女平等実現のために働く》 国際サーバスのニューヨーク国連代表 K. M. 国連の今年の女性の地位に関する委員会では、デジタル時代における教育とイノベーショ ン、そして男女平等に対するテクノロジーの影響について話し合われた。
21 22	《アルバとおしゃべり》 スペインサーバス スペインのソルソナ在住の英語教師、A. S.の活発なサーバス活動についてのインタビュー 記事。

23	《カナダへの客人たち》
24	I 《西へ》 M. D. T. S.
25	アルバータ州カルガリーのサーバス会員たちが4年ぶりに集合し、サービスの事、今後の事を話し合った。 II 《カナダの日にフランスからのトラベラー》 D and T D-R 合衆国とカナダ横断旅行中のフランスサーバスのLとCをホストした。 III 《コンゴからのお客様》 M. J. (SINB 編集長) 両親と男の子2人のトラベラーを車でナイアガラの滝まで案内し、自身も再発見がありとても楽しめた。
26	《火事と共存する》 T. P.
27	山火事が家に迫り大変な思いをして避難、そして5日後に帰宅。孫たちの将来に思いを馳せ、政治難民と同様に気象難民の問題を考える。
29	《カナダサーバスとの50年》 D and D.H.
30	1971年に夫婦で入会し、北米南米を二人で旅行。様々な世界観の人々や野生動物と出会う
31	冒険の旅。その後、生活基盤を作り、2回目の海外の旅は3人の子供とキャンピングカー
32	で3ヶ月のヨーロッパからトルコへの旅。人々、文化、多様な地勢、豊かな歴史を学ぶ。
33	その後も、ホスト、インタビュアーとして活動している。
33 下	カナダは8月17日までのところ、今までの平均の7倍の山火事が発生している。 SINB 国際サーバスニュースレター編集長 M.J.
34	英国のサーバス会員からの便り》 B. R. SINBのおかげで、自分も旅をしている気分です。娘がオーストラリア旅行中にサーバス会員さんに苦境の時に助けてもらったエピソードも書かれている。
35	《あなたはどの世代》 M. J. SOL上では世界のサーバス会員数が11686名(2023.6月)で、そのうち10%近くが年齢を書き込んでいない。0~65歳が5254名、65~130歳が5312名。50%以上がシニアである。国や地域で若い世代の入会について話し合いが持たれているところがあれば知らせて欲しい。 パリには現役のサーバス会員Vさん(106歳)がいる！
36	《役員たち》 C. K. ウルグアイ旧役員への謝辞と新役員へのエールと紹介。
37	国際サーバスニュースレター (SINB) の紹介 国際サーバス役員 2022年から2025年までの紹介と連絡先

翻訳要約担当 S. M. ・ T. F.

8. 編集後記

今年には本部役員になって初めての年末、コロナが落ち着き久しぶりの海外サーバス旅行でお世話になったサーバスホストの方々への年末年始のお便り等々で、いつもと違った時間が流れています。12月に入っても暖かな日々が続きシニアの私にはありがたいと思っていたところ寒波襲来です。心躍るのは藤井聡太8冠、大谷翔平選手の一挙手一投足！若い人たちの活躍には力をもらっています。みなさま、どうぞ健康やかに、来年も多くのいい時間を持てたらいいですね。

会報担当 T.F.

